

医療の国際化に貢献

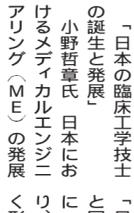
学校法人 大阪滋慶学園

第1回アジア臨床工学フォーラム開催

大阪滋慶学園(大阪市淀川区)と滋慶医療科学大学院大学(同)は4月22日、大阪市北区の大阪国際会議場で「第1回アジア臨床工学フォーラム」を開いた。アジア各国の臨床工学について現状を認識し、将来を見据えた「チーム医療」としての臨床工学技術者の育成が目的。アジア10カ国・地域から臨床工学技術者や学校関係者ら約400人が参加し、議論を深めた。第2回は2013年、中国・上海で開催する計画。開会式では松井一郎大阪府知事の祝辞を披露。実行委員長の浮舟邦彦大阪滋慶学園理事長は「アジアの臨床工学の発展とスペシャリスト育成に寄与していきたい」と力を込めた。



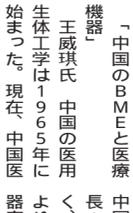
「日本の臨床工学技術者の誕生と発展」
小野哲章氏 日本におけるメディカルエンジニアリング(ME)の発展



「日本ME学会」の歴史と同じ。この約10年前にME産業が立ち上がり、高度先進医療が開花。現在、全国に専門学校70校ある臨床工学技術者は、医療現場で高度先進医療を工学と技術で支えながら、教育、産、行政、海外援助と活動の場を広げてほしい。



「中国のBMEと医療機器」
王威瑛氏 中国の医用生体工学は1965年に始まった。現在、中国医療機器産業が将来、発展する



「台湾の生物医学工学教育」
蕭德瑛氏 台湾の生物医学工学教育は1972年に始まった。その後、臨床工学の基礎がつけられてきた。2010年に国立科学技術センターが、研究にも力を入れている。

グローバル医療に求められた臨床工学の展望

「グローバル医療」が、主たる仕事は透析装置の保守管理と透析用水、透析液の品質管理など。個別患者の治療ニーズに応じて透析液の濃度などを調整する。さらには透析治療中は機器の動作状況を巡回観察する。メカ1担当者と連携しながら正確かつ素早い対応が常に求められる。研究にも力を入れている。

「国際化道半ば」
蕭德瑛氏 台湾の生物医学工学教育は1972年に始まった。その後、臨床工学の基礎がつけられてきた。2010年に国立科学技術センターが、研究にも力を入れている。

「技術不足課題」
柴原伸久氏 近年、アジアでの透析普及が進み、透析施設はカンボジアの10から中国の3500まであり、保険内でも各国さまざま。11年にはベトナムとカンボジアの4施設で透析液の水質調査を行ったが、基準を満たしたものは1施設だけだった。透析機器は普及しつつあるが、水質を維持する教育を受けた臨床工学技術者が少ないことは、やはり大きな課題と言える。

「新素材に注目」
黄為民氏 厳しい条件のもとで一定の形状を与えられた形状記憶材料は、それぞれに適した条件下で元の形

「知識、技術進化続く 技士の重要性一段と」
劉学軍氏 臨床工学の役割などパネリストが自身の考えを熱く語った

「活動の場、拡大を期待」
小野氏 70年代になると人工透析療法、人工心臓手術が普及し、病院にもE技術者が登場する。現在、全国に専門学校70校ある臨床工学技術者は、医療現場で高度先進医療を工学と技術で支えながら、教育、産、行政、海外援助と活動の場を広げてほしい。

「教育講演」
この間違った。それは人口が多く、1000人あたりの病率は3.6床と比較的の低いから、も整備された。21世紀医学の研究は人間の健康に基づいて、医用生体工学と臨床工学は想像できないくらい発展と貢献をすることだ。勇往邁進する。

第1回アジア臨床工学フォーラム テーマ「グローバル時代を迎えるアジアの臨床工学」

4月22日(日)大阪国際会議場にて開催

招聘講演
「日本の医療資格制度の過去、現在、未来」
渡辺 敏(財団法人医療機器センター 理事長)
「中国医療器械有害事象の監督と出荷後の危機管理」
董 放(中国国家食品薬品监督管理局 薬品評価センター 処長)

特別講演・教育講演
特別講演
「東日本震災の経験 被災に対する臨床工学技術者の活動と今後の課題」
菊池雄一(一般社団法人岩手県臨床工学技術士会)
教育講演
「日本の臨床工学技術者の誕生と発展」
小野哲章(滋慶医療科学大学院大学 教授)
「中国のBMEと医療機器」
王 威瑛(中国工程院 院士 復旦大学 首席教授 上海理工大学 名誉院長)

シンポジウム(第1部)
「アジア各国の臨床工学—現状、課題、その他」
「韓国のPerfusionの現状」
李 知然(韓国(ソウル アサン医療センター))
「ベトナムの透析の現状」
阮 必勝(ベトナム(ハノイ ホエ ナイ病院 腎臓、透析科))
Asmaranto Pradjoko(インドネシア)
「バングラデシュの公立病院における医療画像装置の在り方とデータ管理システムの改善について」
Anwar Hossain A.B.M.Siddique(バングラデシュ)
「健康家族福祉省付属国立医療電子装置管理・研修センター」
「カンボジアの医療機器の状況について」
Hab Soksanmang(カンボジア)
「国立母子健康センター 国内ワークショップチーム」
「ネパールにおける生物医学工学分野のシンポジウム」
Roshan Bajracharya(ネパール)(カトマンズ カンチ子子供病院)

パネルディスカッション
「グローバル医療に求められた臨床工学の展望」 司会 加納 隆(埼玉医科大学 教授)
「パネリスト」
山下芳久(日本臨床工学技術士会 国際交流委員会委員長・埼玉医科大学 准教授)
劉 学軍(中国)(北京医学会 血液浄化技術分会会長・中日友好病院)
蕭 德瑛(台湾)(国立清華大学 教授)
柴原伸久(日本)(有明総合病院 院長)
黄 為民(シンガポール)(南洋理工大学 副教授)

製品展示
大正医療器械株式会社 ニプロ株式会社 日本光電工業株式会社

医療の質の向上と患者様の安全を学術的に探求する大学院大学

医療安全を実践する専門家を養成する修士課程 多くの医療関係者の方々が学べます 日本初

大学院大学の特徴

- わが国初の医療安全管理学修士課程(2年制)
- 優れた教員が研究をサポート
- 医療職などに就業しながら学べる授業編成
- 学びやすい時間割
- 夜間に通いやすい利便性に優れた立地

在学生の職業

- 医師
- 看護師
- 臨床検査技師
- 理学療法士
- 臨床工学技士
- 診療情報管理士

修士(医療安全管理学) 20名の専任教員 夜間に学ぶ 平日3日+土曜日開講 新大阪駅前

入学選抜試験日程および受付日詳細に 関しましては随時ご連絡ください
[E-MAIL] info@ghsj.ac.jp または [TEL] 06-6150-1336 まで

学校法人大阪滋慶学園 滋慶医療科学大学院大学
Graduate School of Health Care Sciences, Jikei Institute
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-8
[TEL] 06-6150-1336 [FAX] 06-6150-1337
[E-MAIL] info@ghsj.ac.jp [HP] http://www.ghsj.ac.jp

アジア各国の臨床工学—現状、課題、その他

シンポジウム第一部
「インドネシアにおける臨床工学について」
Asmaranto Pradjoko氏
インドネシアの臨床工学は仕事の範囲が大きな病院に限られるため需要が少なく、未発達。医師が少なく、インドネシアの保健従事者でも500人しかいない。人口や病院数に比べ、電子技術者の数は十分ではない。血液透析の状況も同様だ。

シンポジウム第二部
「日本の臨床工学技術者の養成現状と課題」
須崎正敏氏 大阪滋慶学園では10年前に上海医療器械高等専門学校と間で、厚生労働省から発出された派遣された講師が、必要となる。中国からの留学生も1期生は08年3月に卒業、国家試験にも合格し、日本にも病棟に就職している。今後モグロカルな活躍を期待したい。

臨床工学の需要少なく 人材養成にも遅れ
「ベトナムの透析の実状」
阮 必勝氏 ベトナムで2000台の血液透析装置を必要とする慢性患者は約1万人あり、1台あたり19米。これらが血液透析の品質が向上しない理由になっている。今後、ベトナムの透析に必要なことは、国の基準の設置と技術者や技術者を養成するシステムの確立だ。

すべての臨床工学技術者が力をあわせ、新しい医療体制を築き上げていくために。

公益社団法人 日本臨床工学技術士会
www.ja-ces.or.jp

本会は臨床工学技術者の職業倫理の高揚を図るとともに、学術的研鑽および質の向上、生命維持管理装置をはじめとする機器に支えられた医療・福祉の信頼性の向上に努め、国民の医療・福祉の進歩に寄与することを目的としています。また、これらの目的を達成するために、都道府県を区域とする臨床工学技術士会との連携を密にしています。

【主な事業】
●学術的研鑽 全国の臨床工学技術者を対象とした学術的研鑽および質の向上を目的とした事業。
●安全対策 臨床工学技術者に対する安全対策事業。
●普及啓発 臨床工学の普及啓発に関する事業。
●福祉 相互福祉に関する事業。
●図書刊行 図書、印刷物の刊行に関する事業。

【主な活動】
●全国臨床工学技術者の開催 全国規模で会員および関係機関が一堂に会し、「日本臨床工学技術士会」を毎年開催しています。
●各種安全対策セミナーの開催 医療スタッフのための人工呼吸療法における安全対策講習会や、ペースメーカー関連業務研修セミナーなどを開催しています。
●情報の提供 日本臨床工学技術士会誌(年3回)、機関誌「たより」(年6回)を発行しています。

一般社団法人 日本臨床工学技術士教育施設協議会

本会は、平成元年に4校の会員からなる任意団体として発足。以来20年以上の活動を経て、平成22年6月には会員数が62校となったことを受け、平成23年4月1日に一般社団法人として事業を開始。現在、会員数は63校となりました。本会は下記の4つの委員会が支えられており、それぞれ「時代に沿った教育教材の検討開発」「臨床工学技術教育水準の向上」「臨床工学技術者の認知向上」「国家試験合格者の向上」を目標に活動を行っています。

教科書委員会
医療現場で期待される臨床工学技術者一定のレベルのもと、全国で活躍するために、広く臨床工学技術者養成所で、利用される統一の教科書が必要である。基礎力を養うこと、卒業後も携えられるような教科書の検討、作成を支援しています。

教育委員会
養成所指定規則におけるカリキュラム等について検討する委員会として活動しております。2004年に大綱化されたカリキュラムの原案を作成し、現在は臨床実習の指導書等の作成に取り組み中であるところ。今後とも各養成所の教育内容の向上と充実をはかる目的で活動します。

広報委員会
臨床工学技術者に対する認知向上、将来展望及び新規就職等を中心に、高校生にも出来るだけ分かりやすくご案内しております。この為に、Web作成と各種検索エンジンとのリンクによるインターネットの活用、業務案内DVDや小冊子の作成等を行っております。

試験委員会
年3回の「全国統一模擬試験」を実施しています。会員校の教員スタッフが、近年の国家試験の出題傾向を考慮した試験問題を作成します。その他の活動として、教育効果の向上を目的とした教員研修会を実施しています。

事務局
〒164-0001 東京都中野区2-2-3 (株) へるす出版事業部内
Tel.03-3384-8177 Fax.03-3380-8627 E-mail:office@jaefcet.org

学校法人 大阪滋慶学園 専門学校のご案内

Jikei Group

- 医療秘書 情報科 (昼間2年制)
- 医療心理科 (昼間3年制)
- 薬業科 (昼間2年制)
- 臨床検査技師科 (昼間3年制)
- 言語聴覚士科 (昼間3年制)
- 言語聴覚士科 (夜間2年制)
- 鍼灸師学科 (昼間3年制・夜間3年制)
- 鍼灸健康美容科 (昼間3年制)
- 鍼灸健康美容科 (夜間2年制)
- 専攻科 (昼間1年制)
- 専攻科 (夜間1年制)
- 4年制大学卒業以上
- 臨床工学技士科 (昼間3年制・夜間3年制)
- 臨床工学技術士専攻科 (昼間1年制)
- バイオサイエンス学科 (昼間3年制)
- スポーツ科学科 (昼間2年制)
- 鍼灸スポーツ学科 (昼間3年制)
- 柔道整復士専攻科 (昼間3年制)
- 柔道整復士科 (昼間3年制・夜間3年制)
- ロボット学科 (昼間2年制)
- 日本語学科 (昼間1年制・夜間1年制)
- 専攻科 (昼間1年制・夜間1年制)
- 看護学科 (昼間3年制)
- 社会福祉科 (昼間4年制)
- 介護福祉科 (1部2年制・2部3年制)
- 医療秘書 情報科 (昼間3年制)
- 保健保育科 (昼間2年制)
- 精神保健福祉科 (夜間1年制)
- 社会福祉専攻科 (夜間1年制)
- 専攻科 [医療秘書・情報専攻] (昼間1年制)
- 別科 [通信教育科]
- 診療情報管理士学科 [診療情報管理士コース] (昼間3年制)
- 医療ソーシャルワーカーコース (昼間3年制+専攻科1年制)
- 理学療法士学科 (昼間3年制・夜間4年制)
- 作業療法士学科 (昼間3年制・夜間4年制)
- 視能訓練士学科 (昼間1年制・夜間3年制)
- 言語聴覚士学科 (昼間3年制)
- 看護学科 (昼間3年制) (設置予定)
- 理学療法士学科 (昼間3年制) (設置予定)
- 臨床工学技術士科 (昼間3年制) (設置予定)
- 言語聴覚士学科 (昼間3年制) (設置予定)

大阪医療技術専門学校
〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30 TEL(0)6354-2501
0120-78-2501 http://www.ocmt.ac.jp

大阪ITテクノロジー専門学校
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-43(新大阪駅前) TEL(0)6392-8119
0120-33-8119 http://www.osaka-hightech.ac.jp

大阪保健福祉専門学校
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-47(新大阪駅前) TEL(0)6396-2541(代)
0120-128-294 http://www.ochw.ac.jp

大阪医療福祉専門学校
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-14(新大阪駅前) TEL(0)6393-2288
0120-1298-59 http://www.ocmw.ac.jp

大阪医療看護専門学校
〒560-0045 大阪府豊中市刀根山5-1-1(7) TEL(0)6846-1080
0120-57-1080 http://www.ocmn.ac.jp

出雲医療看護専門学校
〒653-0001 島根県出雲市今市町1151-1 TEL(0)853-25-7034
0120-868-123 http://www.icmn.ac.jp